

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	音楽基礎A1(理論)	
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	サウンドクリエイターコース	開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	開講時間		授業形態	講義
教科書/教材	学校指定の教科書				
担当教員情報					
担当教員	平下政志		実務経験の有無・職種	有・ミュージシャン/アレンジャー/コンポーザー	
学習目的					
現代の多様化した音楽には様々なジャンルの音楽が混在しているが、その中には過去からの確立した理論がベースに存在している。その知識を深め、多様なアプローチから作曲・編曲が出来るための基礎を学ぶ。					
到達目標					
学校指定のグレードをマスターすること。理論の中でも特にコードについて理解することを目標とする。インターバル、和音構成など基本的な知識の定着からスタートするが、ヴォイスングの選択など現場に対応できる能力を身に着ける。					
教育方法等					
授業概要	学校指定教科書から学ぶ、また必要と思われる部分は補足して講義する。 プロジェクター・ホワイトボードを使い、音を確認しながら説明する。				
注意点	筆記用具と五線譜ノートを持参する。 他の理論授業（特に水曜日の専攻ゼミ）と連携して進めていくため、授業時間外での予習・復習をする。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	後期末試験		
	小テスト	10%	確認の小テスト		
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	40%	出席率、および授業への参加姿勢		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	ガイダンス		音楽理論を学ぶにあたっての注意点 レベルチェックテストを行う		
2回	ポピュラー音楽楽典基礎①		インターバル（音程）について理解する		
3回	ポピュラー音楽楽典基礎②		トライアドコード（3和音）のインターバルについて理解する		
4回	ポピュラー音楽楽典基礎③		インターバル（音程）とトライアドコード（3和音）表記の関係性を学ぶ		
5回	ポピュラー音楽楽典基礎④		7thコード（4和音）のインターバルを理解する		
6回	ポピュラー音楽楽典基礎⑤		インターバル（音程）と7thドコード（4和音）表記の関係性を学ぶ		
7回	確認小テスト		インターバルとコードの理解度を確認する		
8回	調性の和音の機能①		調性とCycle of 5th(5度圏) について理解する		
9回	調性の和音の機能②		Chord name(コード名とDegree name(度数) を理解する		
10回	調性の和音の機能③		Major Scale Diatonic Chord(メジャースケールダイアトニックコード) について理解する		
11回	調性の和音の機能④		Minor Scale Diatonic Chord(マイナースケールダイアトニックコード) について理解する		
12回	調性の和音の機能⑤		ダイアトニックコード(Major Minor)のFunction(機能) とCadence(カデンツ) について学ぶ		
13回	調性の和音の機能⑥		コードの転回形とヴォイスングを理解する		
14回	前期まとめ		音程・和音・調整・機能・カデンツの復習と確認		
15回	前期末試験		前期授業内容の理解度を確認		